日本共産党 北区議会議員

ののの山けん 区政レポート

No.488 2018.8.22

日本共産党北区議員団
〒114-8508 王子本町1-15-22
ご相談はお気軽に 090-2156-3510
http://kyoukita.jp/nonoyama/ mail@ken-nonoyama.com

核も戦争もない世界に

第24回 平和のための北区の戦争展

18日と19日の2日間、北とぴあ地下展示ホールで、第24回平和のための北区の戦争展が開かれました。

今年は、区内で活動する団体や労働組合、サークルなどが、1年前に国連で採択された核兵器禁止条約や南北・米朝会談を契機にした対話によるアジア・朝鮮半島の平和への模索、翁長雄志知事の死去によって正念場を迎えている沖縄の米軍新基地建設反対闘争など、新たな情勢を反映させた力のこもった展示を出展しました。

オープニング・セレモニーでは、私も日本共産党北区議員団を代表して、あいさつしました。

オープニング・セレモニーであいさつする、ののの山けん党区議団長 ＝18日、北とぴあ

「花ばぁば」出版で特別企画

19日には、日中韓平和絵本プロジェクトの一環であり、元日本軍「慰安婦」被害女性の体験をもとに描かれた「花ばぁば」（クォン・ユンドク著）の出版を記念する特別企画がもたれ、出版にかかわってきた日本の絵本作家、浜田桂子さんが講演をおこないました。

（ののの山けん）

絵本作家の浜田桂子さん（左）と

日本共産党志茂・赤羽後援会

日帰りバス旅行

勝沼ぶどう狩り

【参加費】8,000円

お問合せ・申込みは 090-2156-3510（のの山）まで

9月30日（日）

【出発場所】
8:00 洋服の青山前
8:10 七溜商店会入口
8:15 志茂駅ローソン前

新たな日韓関係の発展を

在日本大韓民国民団が第73周年光復節中央記念式典ひらく

●日本共産党・小池晃書記局長が祝辞

日本では終戦記念日の15日、今年も民団の光復節中央記念式典に参加しました。光復節とは、日本の植民地支配からの解放を記念する韓国の祝日です。

第1部では、民団の呂健二（ヨ・ゴニ）団長があいさつし、韓国の李洙勲（イ・スフン）駐日大使が、文在寅（ムン・ジェイン）大統領の記念辞を代読。続いて、日本の各政党代表が祝辞をのべました。日本共産党からは、小池晃書記局長・参院議員、山添拓参院議員、そねはじめ都議が来賓として参加しました。

第2部の芸能公演では、日本でも人気の歌手、キム・ヨンジャさんが熱唱しました。

南北、米朝会談を受け、新たな日韓関係の発展が望まれます。

（のの山けん）

東京韓国学校舞踊部による踊り

キム・ヨンジャのパワフルなステージ

韓国民団「光復節」記念式典での小池書記局長のあいさつ

皆さん、こんにちは。日本共産党の小池晃です。

日本帝国主義による植民地支配からの解放を記念する意義深い日にあたり、日本共産党を代表して心からお祝い申し上げます（以上、韓国語で）。日本の侵略戦争で犠牲になった2000万人を超すアジアの人々を追悼し、二度と戦争を起こさない決意を誓うものです。

「日韓パートナーシップ共同宣言」から、今年で20年です。これは、両国間の外交文書として初めて、日本がかつて植民地支配により、韓国の人々に「多大の損害と苦痛を与えた」と痛切な反省と謝罪を明記した、歴史的文書です。そこには両国国民、特に若い世代が歴史への認識を深めることが重要で、そのために多くの関心と努力が払われる必要がある、とも強調されています。

まさにこの宣言は、韓国の皆さんと心の通い合う友好と交流を発展させるための土台です。今日は若い世代の代表でもある、山添拓参院議員と一緒に参加しました。私たちもこのパートナーシップ共同宣言を指針に、本当の「未来志向の日韓関係」をつくるため、力を尽くします。

日本側としては、過去の侵略戦争と植民地支配の歴史を偽造し美化する逆流を決して許さないことが求められます。

民族差別をあおるヘイトスピーチも、背景にはゆがんだ歴史認識があります。一昨年、民団の皆さんをはじめ市民の運動と超党派の取り組みによって対策法が制定されました。ヘイトスピーチ根絶のため、皆さんと引き続き全力をあげる決意です。

永住外国人の地方参政権の問題も、解決は待ったなしです。地域社会の構成員として納税などの義務を同じように果たしているのに、なぜ投票できないのか？　先日もそんな訴えを直接うかがいました。日韓パートナーシップ共同宣言には、在日韓国人の地位向上のため日韓両政府が協議すると書いてありますが、それからすでに20年が過ぎました。地方参政権の早期実現のため、ここにおられる皆さんをはじめ超党派で頑張ります。

朝鮮半島では今、戦争の危機から平和と友好に向かう、歴史的なチャンスが生まれています。困難はありますが、朝鮮半島の非核化と、北東アジアの平和体制を構築するため、日本政府が積極的な役割を果たすことが求められています。

こんな時に、憲法9条をなきものにするなど、断じて許されることではありません。

日韓の友好と協力、戦争の恐れと不安のない北東アジアにするため、平和・協力・繁栄の北東アジアをつくるために、日本共産党は全力をあげる決意です。ともに頑張りましょう。カムサハムニダ。